様式第９号（第13条関係）

記入例・赤字

令和 ○ 年　○　月　△　日

公益財団法人東京都中小企業振興公社

理　事　長　　殿

所　　在　　地　東京都○○区○○町１－２－３

施設運営管理者名　株式会社　△△

代 表 者 職 氏 名　代表取締役　公社　太郎

受　付　番　号　○インキュ○○

令和７年度 インキュベーション施設支援機能強化事業　実績報告書

令和　７　年　９　月　１　日付　７東中事創第　△△△△　号をもって交付決定の通知があった助成事業が完了したので、下記のとおり報告します。

記

１　助成事業実施期間

令和７年　９月　１日　～　令和８年　８月３１日

２　助成事業実施結果報告・・・・・付表１－１～１－３のとおり

３　助成事業支払総括表・・・・・付表2、２－１

４　提出書類

（１）助成事業の成果を明らかにするための書類（写真、資料等）

支援策実施時の写真、委託成果物等

（２）助成事業の経理関係書類（契約・支払確認に必要な書類）

見積書、契約書（注文書・注文請書）、納品書（業務完了報告書）、振込控、通帳写し等、請求書

様式第９号（付表1-1）

記入例・赤字

１　実施結果報告

（１）入居状況等　　令和〇 年　　△ 月時点

	個室 （単位：室）	コワーキング （単位：席）	バーチャル等 （単位：人）	その他
会員数（前年度）	XX	XX	XX	XX
会員数（今年度）	XX	XX	XX	XX

（２）事業による産業財産権等の出願　（ 有 ・ 無 ）

① ※ありの場合→特許件、実用新案権等の種別及びその状況をご記入ください

（例）△△△　～　△△△特許を取得。　現在、商品化を検討中。

② 出願する予定　（ 有 ・ 無 ）

※ありの場合→特許件、実用新案権等の種別及び予定時期をご記入ください

（例）予定あり・なし等のコメント

（３）国・都道府県・区市町村等から本施設に対する他の補助金交付　（ 有 ・ 無 ）

交付（採択）を受けている場合、その事業の名称をご記入ください

（例）〇●区より、デジタル化推進助成金を交付予定あり等

様式第９号（付表1-２）

２　支援策別事業報告

記入例・赤字

○実施した各支援に対する入居者等の効果を記載してください。
（例：セミナー参加入居者の法人設立10社、専門家相談活用入居者の黒字経営化5社、備品購入費を活用した機械による新規プロダクトの開発3社　など）
【注】「今回申請した助成金を活用した支援策を実施したことで得られた効果」が対象となります。
○原則として下記の枠内に記載し、これにより難い場合は表頭の各事項を網羅したもので分かりやすい形で記載してください。
（行の追加も可）（別に作成した表の貼り付けや別添でも可）（複数ページでも可）

○事業実施後にアンケート等の実施により、申請者が把握された内容を以下「効果測定（KPI）」の「支援策実施後の効果」欄にご記入ください。

1	**実施計画の支援策名**	(例）入居者向け「知財セミナー実施」	
	実施内容 **（実施時期、場所、回数、内容等）**	実施内容：創業後必要となる知財知識に関する入門編としてのポイントを講義 弁護士を講師に招き、 セミナー①創業後に必要となる知財知識に関する入門編としてポイントを講義 セミナー②創業後２～３年が経過した企業における特許・財産権などの知財知識に関するポイントを講義 を入居者のレベルに合わせて実施した 実施時期：2025年10月1日～2日 実施時間：17:00～20:00（両日共） 実施回数：２回コース 場所：自社施設　セミナールーム　＋　オンライン配信 その他：後日資料閲覧できるよう動画を撮影しHPに掲載 集客方法：施設内での掲示、HPへの実施内容の掲載	
	参加人数 ※複数回開催の場合は、各回ごとの参加者及び合計の人数を記載	・各回　20名　×　２回　＝　合計　40名 ※　当日参加出来なかった入居者が、開催後1か月間で20名程の動画視聴を確認できた	
	効果測定（KPI）	**助成金申請時の想定** ※申請書（付表1-5）の記載内容	・セミナー参加者のうち、法人化した者５社 ・参加者同士の交流による連携事業化　2社
		支援策実施後の効果	・セミナー参加者のうち、法人化した者３社 ・参加者同士の交流による連携事業化　１社

2	**実施計画の支援策名**	（例）３Dプリンターの購入／工作期間の賃借	
	実施内容 **（実施時期、場所、回数、内容等）**	実施内容：ものづくり入居者向け「３Dプリンターの購入／工作期間の賃借」による試作環境の整備 設備として高額な専用機材の利用環境を整備することにより、開発・生産ノウハウの習得と新製品開発や販売機会の 拡大支援につなげる 対象：部品、アクセサリー、小物製造関係事業入居者　10社　＋　入居予定者 導入時期（購入）：（例）３Dプリンタ　ABC-DDDD123　→　2025/10/20　設置 導入時期（賃借）：（例）〇●工作機械　→　2025/12/1～2026/3/3　1賃借設置 場所：施設内作業場	
	参加人数 ※複数回開催の場合は、各回ごとの参加者及び合計の人数を記載	・延べ35人が利用	
	効果測定（KPI）	**助成金申請時の想定** ※申請書（付表1-5）の記載内容	・ものづくり分野への起業：2社 ・試作品の製品化及び販路の拡大：2社
		支援策実施後の効果	・今回起業には至らなかったものの、ものづくりを希望する入居希望者からの問い合わせが増えている ・試作品の製品化実現：1社

※行が不足する場合は追加し、ご記入ください

様式第９号（付表1-２）

２　支援策別事業報告

記入例・赤字

○実施した各支援に対する入居者等の効果を記載してください。
（例：セミナー参加入居者の法人設立10社、専門家相談活用入居者の黒字経営化5社、備品購入費を活用した機械による新規プロダクトの開発3社　など）
【注】「今回申請した助成金を活用した支援策を実施したことで得られた効果」が対象となります。
○原則として下記の枠内に記載し、これにより難い場合は表頭の各事項を網羅したもので分かりやすい形で記載してください。
（行の追加も可）（別に作成した表の貼り付けや別添でも可）（複数ページでも可）

○事業実施後にアンケート等の実施により、申請者が把握された内容を以下「効果測定（KPI）」の「支援策実施後の効果」欄にご記入ください。

3	**実施計画の支援策名**	(例）入居者向け「相談会の定期実施」	
	実施内容 **（実施時期、場所、回数、内容等）**	実施内容：創業前後必要となる法人化手続き、資金調達、マーケティング、販路拡大等について　専門家による相談会を実施する 実施時期：2026年1月～2026年3月　（毎週水曜日実施） 実施時間：13:00～17:00／日　（事前予約制：１～２H／社） 実施回数：4回／月×3か月＝12回　（毎週相談テーマに合う講師を設定） 月実施テーマ　→　１回目：法人化手続き　　２回目：資金調達　　３回目：マーケティング　　４回目：販路拡大 場所：自社施設　会議室　or　オンライン 集客方法：施設内での掲示、HPへの実施内容（相談会設定スケジュール）の掲載 ※毎回の実施内容について、相談録を作成し　相談者及び施設IMと情報を共有することにより今後の入居者へのフォローへ活用する	
	参加人数 ※複数回開催の場合は、各回ごとの参加者及び合計の人数を記載	・1月　xx名　＋　2月　xx名　＋　3月　xx名　＝　合計　xx名（延べ人数） 1月→1回目：xx名、2回目：xx名、3回目：xx名、4回目：xx名　　2月→1回目：xx名、2回目：xx名、3回目：xx名、4回目：xx名 3月→1回目：xx名、2回目：xx名、3回目：xx名、4回目：xx名	
	効果測定（KPI）	**助成金申請時の想定** ※申請書（付表1-5）の記載内容	・相談会参加により、法人化した者　３社 ・相談会参加により、融資に成功した者　２社 ・アドバイスによる広報活動実施　３社 ・新規販路拡大　２社
		支援策実施後の効果	・相談会参加により、法人化した者　１社 ・相談会参加により、融資に成功した者　１社 ・アドバイスによる広報活動実施　２社 ・新規販路拡大　１社

	実施計画の支援策名		
	実施内容 **（実施時期、場所、回数、内容等）**		
	参加人数 ※複数回開催の場合は、各回ごとの参加者及び合計の人数を記載		
	効果測定（KPI）	**助成金申請時の想定** ※申請書（付表1-5）の記載内容	
		支援策実施後の効果	

※行が不足する場合は追加し、ご記入ください

様式第９号（付表1-3）

記入例・赤字

（4）事業結果に対する見解

（例）

◆セミナー

１．新規取組支援策と結果

・入居者向け知財セミナーを入門編と中級編各１回ずつ開催し、出席者も毎回20名となり好評であった。

２．実施後、出席者アンケートを実施したところ、

・これまで個別に質問をしていた内容について、セミナーに参加したことでまとめて理解することができた

・今まであまり意識していなかった様々なリスクを理解することができ、今後の事業計画に役立てる事ができた

など、概ね好評な結果となった。

本セミナー実施前に入居者へのヒアリングを行い、ニーズを把握した上で実施したことがより効果が得られる結果に繋がったと考えられる。

◆３Dプリンターの購入、工作機械の賃借

入居者からのニーズもあり、ものづくり用の設備を試験的に導入したところ、これまでの分野を広げた創業希望者が増えつつあり、新たな入居者の開拓に繋がるきっかけとなった。

◆相談会

創業や事業拡大に向け相談する機会の提供は入居者にとっても有益との声が多かった。
また、定例での相談会設定でスケジュール確保も比較的スムーズに行うことが出来た。
併せて、相談議事録を作成することにより相談者ニーズの把握も可能となり
今後支援策への反映につなげられると考える。

（5）成果に対する今後の展開

◆セミナー

・今回は知財セミナーという形で、入居者毎のレベルに合わせて開催した。今後は単発の開催ではなく、入居者も入れ替りまた習熟レベルも変化していくため、状況に合わせて定期的開催を計画していく。また知財以外のメニューも拡大し、更なる創業者の支援強化及び知識レベル向上に繋がるセミナーメニューを検討していく。

・入居者ニーズのヒアリングと実際のビジネスへつなげる販路拡大支援（ピッチイベントやマッチング会等）のセッティングを考えていきたい。

◆ものづくり分野の開拓

施設設備、環境を再検討し、新規分野も含めた入居者同士の連携等に繋がるような機会を創出していきたい。

◆相談会

専門家に依頼する前段階において、施設IMがある程度入居者へのアドバイスが出来る様レベルアップを図りたい。　プラスアルファの支援が必要な場合は専門家を紹介出来る体制を構築する。

参加者のニーズや入居者の要望を踏まえ、実施内容のテーマ見直しを定期的に実施。

様式第９号（付表2）

助成事業支払総括表

記入例・赤字

単位（円）

経費明細	助成事業に 要した経費（税込）	助成対象外経費 （消費税等）	助成対象外経費 （税以外）	助成対象経費	備考欄
報酬（謝金）	110,000	10,000		100,000	ｾﾐﾅｰ2回、対応時間　8時間
広告費	110,000	10,000		100,000	告知用HP作成
備品購入費	330,000	30,000		300,000	３Dﾌﾟﾘﾝﾀ
備品賃借用	440,000	40,000		400,000	工作機械
イベント等運営委託費	550,000	50,000		500,000	ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ開催
合　　計	1,540,000	140,000		1,400,000	

様式第９号(付表2-1)

経費明細別支払明細表

記入例・赤字

施設名称：　インキュベーションスペース　◆◇〇

※ 白色 セルに入力してください

経費区分：　事業費

経費明細：　報酬（謝金）

明細番号	品名・仕様	支払額（税込）			対象外経費（消費税）（B）	対象外経費（税以外）（C）	対象経費（A-B-C）	契約日	納品日又は履行日	支払日及び支払金融機関	支払先
		数量	税込単価	（A）							
報ー１	知財セミナー①講師謝金	1	55,000	55,000	5,000		50,000	2025/9/20	2025/10/1	2025/11/10 〇▲銀行	労務　次郎 （弁護士）
報ー２	知財セミナー①講師謝金	1	55,000	55,000	5,000		50,000	'2025/9/20	2025/10/2	2025/11/10 〇▲銀行	労務　次郎 （弁護士）
助成対象経費　合計		2	110,000	110,000	10,000	0	100,000				

様式第９号(付表2-1)

経費明細別支払明細表

記入例・赤字

※ 白色 セルに入力してください

施設名称： インキュベーションスペース ◆◇〇

経費区分： 事業費

経費明細： 備品購入費

明細番号	品名・仕様	支払額（税込）			対象外経費（消費税）（B）	対象外経費（税以外）（C）	対象経費（A-B-C）	契約日	納品日又は履行日	支払日及び支払金融機関	支払先
		数量	税込単価	（A）							
購ー１	３Dプリンタ ABC-DDDD123	1	330,000	330,000	30,000		300,000	2025/11/10	2025/11/25	2025/12/15 〇▲銀行	〇●製作所
助成対象経費　合計		1	330,000	330,000	30,000	0	300,000				